

もろこし

No.43



赤かぶの収穫

初雪の翌日、鶴岡市関根の眞田昭良さんの作業場では、赤かぶの葉切り作業が行われていました。今期は天候のせいもあり、田川地域では約半分ほどの収量とのことでした。

近年は猿被害に遭うこともあるということですが、数百年も続く焼畑農法の田川かぶは、温海かぶや藤沢かぶと並んで、貴重な鶴岡の在来作物として、地域の方々により大切に守り育てられています。

田川地域の赤かぶは、その色合いと歯切れの良さで大変好評を博しています。

(石塚治己委員)

